

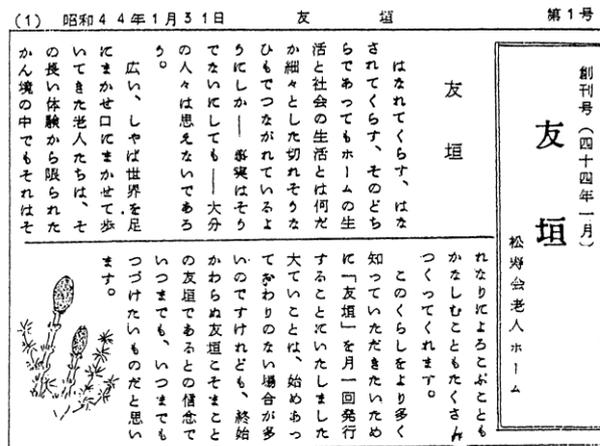
松寿会のあゆみ

(平成18年度末まで)

年月日	こと が ら	参 考
昭和 37年12月1日 (1962年)	社会福祉法人秋田至仁会設立認可(厚生大臣) 初代理事長 小玉晟吉氏 就任 当法人は、 明治33年に更生保護(㊥-1)を目的と して創立された財団法人秋田至仁会(好日寮の経 営)から、養老院を設置経営するために分離、 設立された。	㊥-1 更生保護事業 犯罪による身柄拘束が解か れた者が、自力による更生 が困難な場合に宿泊所の供 与、職業紹介などを行い、 社会復帰を援助する事業
38年1月9日 (1963年)	秋田至仁会養老院(㊥-2)好日寮認可(知事)	㊥-2 養老院
2月1日	秋田至仁会養老院 好日寮事業開始 秋田市川尻川口境 52番地 定員	救護法(昭和7年施行)に よる救護施設の一つ。後に 生活保護法による養老施 設、更に老人福祉法の施行
41年7月2日 (1966年)	養護老人ホーム(至仁会好日寮)の移転 秋田市浜田字陳ヶ原 15番地 5 (現住 至仁会養老院好日寮を老人福祉法による養護老人 ホーム(定員50名)とする。 初代施設長 佐々木雄太郎氏 就任 昭和40年10月着工 総事業費 21,537千円	(昭和38年施行) 養護老人ホームへと移行さ れた。
7月21日	「ホームの歌」制定 養護老人ホームの竣工を記念して、常務理事小山 田四郎氏の作詞、秋田北高校教諭大山会三郎氏の 作曲によりつくられた。	
42年2月8日 (1967年) (㊥-3)	法人及び老人ホームの名称変更 「至仁会」の名称は、法人分離・設立前の財団法人 秋田至仁会の名称と紛らわしく、また施設の名称 「好日寮」も同じであるため、移転を機に法人名を 「社会福祉法人松寿会」に、また施設名を「松寿会 養護老人ホーム」(定員50名)に改める。 (昭和42年1月31日 定款変更認 可 厚生大臣)	㊥-3 名称変更登記完了の日 この日を「松寿会の記念日」 と定める。
6月6日	2代理事長 小山田四郎氏 就任	

44年1月31日
(1969年)

機関紙「友垣」発刊
(創刊号4頁)



45年2月
(1970年)

青少年福祉研修館「友垣寮」完成
平鹿郡増田町(現横手市)後藤繁松氏の寄付金を
基金として建設された。

11月1日

松寿会養護老人ホーム増築完成
定員を50名から75名とする。総事
千円

47年8月
(1972年)

「ホームの旗」(㊸-4)制定
旗の図柄は白地に紺色の二つの三角形を先端で繋
いだものである。下の三角形はこれまでの生活を、
上の三角形はこれからの生活を表している。末広
がりの末長い幸せを念じている。

㊸-4 ホームの旗図柄



48年1月18日
(1973年)

松寿会「楽々民謡大学」誕生
進藤義声氏等による第1回目の慰問を「講座」の
形にし、その名称を「楽々民謡大学」と定めた。
爾来、現在まで続けられている。

49年1月16日
(1974年)

松寿会(盲)養護老人ホーム松峰園事業開始
定員 55名 総事業費 81,850千円

6月30日

後援団体「敦々(トントン)会」発足(㊸-5)
老人ホーム入所者に家族の味を味わってもらう意
味から「一日孝行息子娘運動」を呼びかけ、その
趣旨に賛同する方々により、この会が結成された。
同年10月20日に名称を「敦々会」と
この名称は、息子(娘)が親を訪れた時に「ト
ントン」と戸をたたく音を意味し、また万事がト
ン

㊸-5 敦(トン)
人情があつい、手厚い意

年月日	こと が ら	参 考
	<p>トンとうまく運ばれていく様子に由来したものと 言われている。</p>	
10月	<p>「我楽多交響楽団」誕生（松寿園、松峰園） 手近にあった空きカン、空き樽、鉄パイプ等を利用したリズム演奏を通して入所者の心身機能の維持・向上を図った。廃品を利用したことから「ガラクタ」交響楽団と称した。 昭和 51 年 3 月、一市民からの寄付 徐々に楽器を整備し、現在に至っている。</p>	
50年3月 (1975年)	<p>松寿会「おどりクラブ」誕生 高橋比め氏を講師に、各施設ごとに毎月2回活動してきたほか、年1回松寿会全体の「おどり発表会」を開催していたが、講師の都合により、平成18年夏以降、活動を休止している。</p>	
10月31	<p>松峰園機能回復訓練室完成 東北では初めての養護老人ホーム専門の機能回復訓練施設と言われている。 昭和 50 年 7 月 14 日起工 総工事費 27,720 千円</p>	
54年2月1日 (1979年)	<p>松寿会特別養護老人ホーム松涛園事業開始 定員 50 名 昭和 53 年 7 月起工 総事業費 217,986 千円</p>	
7月	<p>「歓佳良楽団」誕生（松涛園） ジュース・ビール等の空きカンに小石を入れてリズム楽器に仕立てて演奏し、リハビリ訓練の一環とした。その後、徐々に木琴、カスタネット、鈴等の楽器を整え、現在に至っている。当初、空きカンを利用したことから「カンカラ」楽団と称された。</p>	
55年5月3日 (1980年)	<p>満願観世音大菩薩像建立、開眼法要 当初、松涛園の前庭に建立された 月に、松涛園の増築に伴い現在地に移転された。 青銅製 高さ3メートル 台座 1.5 メートル</p>	
56年1月1日 (1981年)	<p>松涛園老人短期入所事業開始 定員7名</p>	

年月日	こと が ら	参 考
2月1日	松寿会軽費老人ホーム（A型）だいせん事業開始 定員 50 名 昭和 55 年 6 月起工 総 273,264 千円 軽費老人ホームの設置経営に伴い、法人組織に評 議員会（㊦-6）を新設した。	㊦-6 評議員会 法人が措置施設【知事及び 市長（法改正により、現在 は市町村長）の権限により 施設の入所・退所が決定さ れる施設】以外の施設【軽 費老人ホームは契約施設 （施設長と入所者との入所 契約による施設）】を設置 経営するときは、評議員会 が必置とされた。
3月20	施設の名称変更（松寿園） 「松寿会養護老人ホーム」を「松寿会養護老人ホー ム松寿園」に改称する。 （昭和 56 年 3 月 20 日 定款変更認 可 厚生大臣）	
6月4日	3代理事長 三浦三郎氏 就任	
59年2月1日 （1984年）	養護老人ホーム松寿園定員変更（大部屋解消 ㊦ -7）入所者の生活環境改善を図るため、全体の定 員を減じて、1室当たりの居住人数を減らした。 定員を 75 名から 50 名に改める。こ れにより、全居室とも4人部屋から2人部	㊦-7 大部屋解消 入所者の生活環境を改善す るため、居室の定員が5名 以上のものを大部屋と称 し、これを4名以下に改善 する国の指導。 松寿園・松峰園では、この 基準を上回る2名部屋に改 善した。
同 上	特別養護老人ホーム松寿園定員変更 「北棟」を増築し、定員を 50 名から 80 増築工事 58 年 6 月着工 総工事費 173,552 千円	
10月15	梵鐘及び鐘楼の寄贈 満願観世音大菩薩像を祝い、寄進有志の会（百八 乳の会）から寄贈される。総工事費 1,600 千円	
61年12月1 （1986年）	盲養護老人ホーム松峰園定員変更（大部屋解消 ㊦-7）入所者の生活環境改善を図るため、増築 し、1室当たりの居住人数を減らした。これによ り、全居室とも4人部屋から2人部屋となる。 増築工事 61 年 7 月着工 総工事費	
平成 2年11月 （1990年）	盲養護老人ホーム松峰園にスプリンクラー設置 総工事費 26,900 千円	
3年1月4日 （1991年）	老人ホームヘルプサービス事業（㊦-8）開始 特別養護老人ホーム松寿園で行う。	㊦-8 ホームヘルプサービス 家庭奉仕員派遣事業を指 す。
5年2月1日 （1993年）	松寿会デイサービスセンター開設 定員 25 名平成 4 年 7 月 21 日着工 総 172,456 千円	

年月日	こと が ら	参 考
6月4日	4代理事長 土方文生氏 就任	
7年4月1日 (1995年)	松寿会老人介護支援センター開設 特別養護老人ホーム松涛園に併設する。	
8月	特別養護老人ホーム松涛園に屋内消火栓設置 総工事費 22,763 千円	
9年4月1日 (1997年)	養護老人ホーム松涛園全面改築 事業開始 旧園舎を解体し、同地に新築する。 1名部屋 18室 2名部屋 16室 (定員変更な 短期入所専用部屋 2室 (定員4名) 平成8年7月19日着工 総工事費 499,962千円 松涛園・松峰園渡り廊下増築工事 平成9年2月15日着工 総工事費 8,600千円	
10月1日	松寿会 30周年記念式典及び養護老人 竣工式挙行 (秋田キャッスルホテル)	
10年3月31 (1998年)	盲養護老人ホーム松峰園法面改修工事 平成9年10月31日、豪雨により松峰 壊のため、擁壁設置、排水処理、関連環境整備の 各工事を行う。 平成9年11月20日着工 総工事費 8,730千円	
11年12月15 (1999年)	介護保険法(㊥-9)による事業所指定(新規事業) 介護保険法の施行により、新たに「松寿会指定居 宅介護支援事業所」の開設が必要となり、その指 定を受ける。(知事)	㊥-9 介護保険法 平成12年4月1日 これにより、松寿会が設置 経営する事業のうち、松涛 園、ホームヘルプサービス、 デイサービス及び短期入所 の各事業は、それぞれ介護 保険法による事業所指定を 受け、介護保険報酬により 経営することとされた。
12年3月16 (2000年)	同 上(既存事業) 松寿会指定訪問介護事業所(老人ホームヘルプサ ービス事業を指定) 松寿会指定通所介護事業所(松寿会デイサービス センターを指定) 松寿会指定短期入所生活介護事 業所(松涛園短期 入所事業を指定)	「居宅介護支援事業」はこの法律の施行により、新たに規定された事業である。
	※老人介護福祉施設(特別養護老人ホーム)の指 定は、介護保険法施行時に既に事業を実施して	

年月日	こと が ら	参 考
7月1日	<p>いる施設は申請不要とされた。(知事)</p> <p>松寿会指定通所介護事業所(松寿会デイサービスセンター)定員変更 利用定員を25名から30名に改める。</p>	
13年8月10日 (2001年)	<p>軽費老人ホーム(A型)だいせん食堂増築 平成13年7月12日着工 総工事費 5,460千円</p>	
15年7月7日 (2003年)	<p>5代理事長 富永廣氏 就任</p>	
17年10月21日 (2005年)	<p>特別養護老人ホーム松涛園改修及び増築 入所者の生活環境の改善を図るた 五つのユニットに分けて、それぞれを一つの生活 単位とする。各ユニットにリビングを設置するほ か、新たに四つの個室を設置する。 平成17年7月11日着工(北棟リビ 年10月施工) 総事業費 53,296千円(うち18年度分 3,937千円)</p>	
18年10月1日 (2006年)	<p>松寿園及び松峰園の介護保険事業所指定(事業開 始日)養護老人ホーム(盲を含む)の制度改正 (注10)により、介護保険法による「特定施設入 居者生活介護」の指定を受ける。また、それぞ れの施設内に、入所者に生活介護サービスを提供 するための「指定訪問介護事業所」を新設する。 特定施設入居者生活介護指定日 松寿園 平成18年 (知事) 松峰園 平成18年9 月29日 訪問介護事業所指定日 松寿園 平成18年9月 (知事) 松峰園 平成18年9 月29日</p>	<p>注10 養護老人ホームの制度改正 介護保険法の改正 4月施行。9月まで経過措 置期間)により、入所者の 生活介護に係る費用は介護 報酬から給付されることと なる。施設の一般管理費及 び入所者の生活支援に係る 費用は老人福祉法による措 置費から支弁される。</p>
12月25日	<p>松寿会デイサービスセンター訓練室増築 平成18年11月15日着工 総工事費 6,457千円</p>	

- 注1) 定款変更等認可を必要とする事項又は行政機関の指定を必要とする事項については、認可又は指定年月日(一部登記完了日又は事業開始日)により表示した。
- (2) 工事については、工事完成年月日により表示した。
- (3) 総事業費には、工事費のほか備品整備費等を含む。